

空母艦載機による深夜の飛行について（抗議）

去る6月1日から14日及び6月21日から24日までの間、空母ジョージ・ワシントン艦載機による着陸訓練が硫黄島で実施されました。

幸い予備施設となっていた厚木基地での着陸訓練は実施されませんでした。着陸訓練の前後の艦載機による騒音により、市民は、精神的、肉体的苦痛を強いられたところであります。

さらに、28日、29日、30日の深夜には、空母艦載機の離着陸の騒音により、多くの市民が耐え難い苦痛を強いられ、睡眠妨害などの苦情が多数寄せられています。

こうした深夜時間帯の飛行は行わないよう再三にわたり申し入れをしていたにもかかわらず、被害が発生したことは、甚だ遺憾であり、市民の切なる思いが踏みにじられているとしか言いようがありません。

よって、こうした時間には絶対に飛行を行わないよう、強く求めます。

平成25年7月1日

米海軍厚木航空施設司令官

スティーヴン J. ウィーマン大佐 殿

綾瀬市長 笠間 城治郎